

# 家庭ごみ有料化、多数(自民・社民・公明 新市民・民主)で可決 実施やめよの世論を広げましょう



**手数料の使い方を説明したが 市民に説明なし**  
市長は「限られた財源の中でどう市政運営をやるかが最大の課題。その議論を抜きに、(有料化)の議論だけをやるつもりはない(4面参照)と、一般施設などにも使えらるると答弁しました。条例の命ともいえる手数料の用途・目的の大きな変更を、市民に説明していません。あらためて市民への説明から始めるのが筋です。

12月議会では、家庭ごみの有料化、手数料への消費税8%転嫁など、大きな負担を強いる議案が強行されました。市民生活を守るために、引き続き全力をあげます。

## 減量は、分別の徹底をさらにすすめてこそ

わが党の一般質問に、有料化だけでは「排出量が大きく減少するとは考えていない」と、環境部長が答弁しています。分別の徹底など、ごみ減量・リサイクルに取り組み、その結果を検証してからでも、有料化するかどうかを決めても遅くありません。

## 不公平ひるげる有料化

所得にかかわらず、同一手数料であり、最大の不公平を生むこととなります。家族が多ければ、排出量が多いのは当たり前、その量に応じた負担を求めることは、公平とはいえません。これまで、ごみ減量・リサイクルをしてきた家庭にとつては、新たな負担を生むとい

## 具体的な問題、何ら解決なし

ボランテニアや自治会での清掃に専用袋の支給……。混乱がないでしょうか。非課税世帯などへの減免対策がないのも問題です。レジ袋がごみに……。リ

## 有料化はさらなる 市民生活の圧迫に

市民の暮らしは、景気の低迷、社会保障の切り捨て、消費税増税など、厳しい生活を余儀なくされています。これ以上、市民生活を圧迫することは許せません。

# こんにちは 日本共産党 大分市議団です

大分市荷揚町2番31号 市議会日本共産党控室  
電話 537-5695 (直通)  
Eメール: occ-jcp@oct-net.ne.jp  
http://www.jcp-oitasigidan.com/  
2013年12月議会報告

# 本当の目的は、市の収入増!? 議会の姿勢も問われる審議・可決

## 修正しても徴収の 仕組みは変わらない

「3年ごとに、ごみの発生状況などをみて、見直しや必要な対策をとる」という趣旨の修正案が出されました。しかし、どんなに修正を加えても、有料化の仕組みをつくることには変わりありません。修正というなら、条例案から実施日を削除するか、別途定めるべきです。そして、もつと市民へ説明し、議論をすすめる努力をおこなうべきです。

## 減量なければ、また値上げ?

減量がすすまなければ、手数料の値上げができる仕組みをつくることになります。

## 市長の姿勢も 議会の機能も問われる

わが党への市長答弁(別項)のように、目的を変えたというのに、市民へ説明しないということは、市長と市政

の政治姿勢が問われます。厚生常任委員会に、修正案が出されるまでに、たびたび委員会が中断。しかし、十分な審議がされたとはいえません。議会改革で、市政運営のチェック機能や政策立案機能を強めていると言いますが、これでは市議会のあり方が問われます。

## 有料化こそ つぎの世代にツケまわす

市長は「孫の世代に、ツケ

## 施設の建て替え時期きている

公共施設を多数つくり、建て替えの時期がくる。年間の予算で、投資的経費に200億円を確保するのが精一杯。扶助費は年々増えてきている。どういう市政運営をするか。その議論を抜きに、この議論だけをすすめるつもりはない。ごみ減量、資源のリサイクルは、今を生きる我われの責任。次の世代に送っていい話ではない。

## 有料化やめよの声広げ 実施ストップを

党派を問わず、有料化に対する疑問が出されました。有料化の実施は、11月1日からです。有料化中止の世論を広げて、実施をストップさせましょう。

## そして公共施設をどんどん建て替えなければならぬ

時期がくる。その時に借金をして、また次の世代に送るか。私は、最近孫を持った。孫の顔を見ると、彼らに、次の世代に、このツケはまわせない。我われは今、踏ん張らなければいけない。しつかり自分たちがやるべきことはやるべき。

## 「傍聴記」

### ごみ有料化の審議を 目のあたりにして

厚生常任委員会1日目は、意見がまとまらず翌日に。2日目、始まってすぐ休憩。再開、すぐ休憩。午後5時前に修正案を出して、共産党以外の賛成多数で有料化を可決。本会議では、共産党3名、新政クラブ2名、無所属1名の6名が反対。しかし賛成多数で可決。今年の市議選のアンケートに「有料化に反対」の議員も、「もつと市民に説明してから」と発言した議員も、本会議では賛成に。市民への理解と納得をえる努力もしないまま、有料化を決めてしまうなんて許せません。



西村 初美

## 子ども・子育て支援新制度の周知徹底を!

子育て支援施策に関わる子ども・子育て支援新制度に、多くの問題点があることを指摘し、次の3点について追及しました。

①保育認定によって保育に利用制限が生じ、それに応じて新たな保育料負担が生じることから、負担軽減が必要であること。

②子どもたちの健やかな発達を保障するため、自治体は保育の実施義務を果たすべきであり、保育の契約に關して責任を持つこと。

③新制度の財源は包括的に交付され、保育のみならず、放課後育成クラブ・病後児保育事業・妊婦健診など等、広範な分野で予算配分を行うことから、大幅な予算削



齊藤 由美子 議員

減が考えられる。今後どのような影響が及ぶか、保護者・関係者への周知徹底が必要であること。

福祉保険部長は、「①保護者の負担能力を勘案し、応能負担による適正な保育料を定める、②自治体が責任をもって利用調整を行う、③混乱が生じないよう広報・周知に努める」などと答弁しました。

街路樹の落ち葉の清掃、管理などについて、対策を要望しました。



## 秘密保護法案は廃案に

希代の悪法、特定機密保護法案廃案の声が急速に広がっています。「秘密保護法案」の仕組みは、政府が持つ膨大な情報の中から、政府が「特定秘密」を指定し、「秘密を漏らす人」「秘密を知ろうとした人」などを厳罰にするといいものです。その矛先が公務員だけでなく、すべての国民に向けられています。日本国憲法の国民主権、基本的人権、平和主義に反する違憲立法―「秘密保護法案」は廃案を要求することを求めました。



福間 健治 議員

る。真摯に受け止め、不安の払拭に努めていただきたい」と答弁。

社会保障改悪プログラム法案の撤回、要支援者の介護保険外しをやめること、難病対策の充実、法定予防接種の拡大と子どもへのインフルエンザ予防接種の助成、公共下水道事業計画区域の拡大などについても質問しました。



12月5日、大手公園での集会に参加

## ◆◆◆12月議会◆◆◆

## ◆◆◆一般質問より◆◆◆

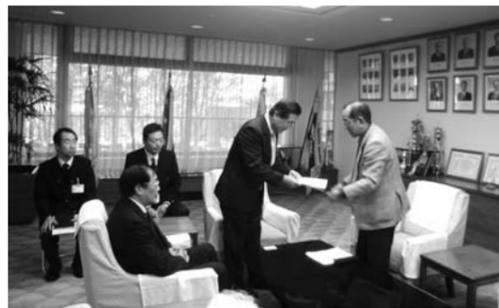
### 碩田中学校区の3小学校の存続等に関する請願 反対多数で不採択―文教常任委員会

請願に、自民・公明・新市民ク・大分民主クが反対。社民ク委員は、委員会で賛成しながら、本会議で反対しました。紹介議員となっていた新政ク・無所属議員も含め、共産党以外の議員が反対しました。

この請願の審査に先立ち、請願者から陳述の申し入れがあったにもかかわらず、文教常任委員会では、意見陳述を認めませんでした。

大分市議会では、議会基本条例の立場で、議会改革をすすめる、請願者・陳情者に対し、意見陳述の機会を設けてきました。この立場にも反しているやり方に批判の声が上がっています。

党議員団は、市議会最終日の質疑で、文教常任委員長に対し、請願者・陳情者の陳述の申し入れを、真摯に受けとめるように、強く要求しました。



年金者組合の消費税増税中止の請願、紹介議員に

**消費税増税中止を  
求める請願も不採択に**

年金者組合大分支部が提出した請願は、年金生活者の暮らしを圧迫する消費税の来年4月からの8%増税の中止を求めています。

総務常任委員会の審議では、「増税分が社会保障に使われるのか、長い目でみていく必要があるのか、継続審査に」という意見もありましたが、「来年4月1日からの増税実施が決まっているので」という理由で、不採択となりました。

### 消費税率の引き上げはストップ 市の手数料などへの転嫁はやめよ



広次 忠彦 議員

消費税率8%への引き上げが実施されようとしています。いろいろ対策をとるよりも、4月からの増税をやめることこそ、一番の景気対策になります。

8%に引き上げられた場合、市民生活への影響、また国へ意見をあげるように求めました。税率が引き上げられた場合でも、現行の手数料や使用料の引き下げなどを行ない、市民負担を軽減するように求めました。

財務部長は、「社会保障の安定財源確保による将来不安の解消で、消費の拡大に資する効果も期待。可処分所得の減少につながり、景気の下押しにも少なからず影響がある」、「国から



消費税率引き上げ反対の請願、紹介議員に

#### 公共交通の充実を

高校授業料は無償です。高校生の通学にも支援するように求めました。また精神障がい者の公共交通機関の割引、コミュニティバスや路線バス運行の充実についても要求しました。